

## 公表 事業所における自己評価総括表

○事業所名	パッソン泉中央		
○保護者評価実施期間	令和7年9月1日		～ 令和7年9月30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	91	(回答者数) 61
○従業者評価実施期間	令和7年9月1日		～ 令和7年9月30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年10月9日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・活動プログラムをチームで立案し、その中で利用する子たちの特性に合わせて柔軟に変更していけること。	・集団での活動を通す中で一斉指示をすることが多いが、理解が難しい子たちや、言葉だけでは上手く伝わり切れていない子たちについては視覚支援や、個別で対応をすること。	・学校や家庭、他事業所で同じような場面になった際にどういった方法で取り組んでいるのかの情報共有をし、当事業所でも取り入れる部分は取り入れていき、利用者が困らない方法を見つけていく。
2	・送迎の時間等を使い、活動内容について細かく伝えることができています。	細かく伝えることを意識しているため、活動中には良い部分も苦手な部分もしっかりと子どもの様子を見るようにしている。その中でどういった声掛けが有効なのか、逆にこういった伝え方だと分かりづらいなど子どもたちの反応にまでしっかりと目を配っている。	・活動中の様子を動画や写真に撮り、それを保護者様に見せて活動の様子を伝え、より分かりやすい、想像しやすい形を見つけていく。
3	・祝日のイベントで普段できないような経験を提供している。	・宿泊や県外に行ったりと祝日の活動では、平日のプログラムと異なる形の取り組みを提供している。	・親子で参加ができるプログラムであったり、保護者様が見学できるようなプログラムを作っていくことで、普段なかなか見れない子どもたちの様子を見てもらう。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・児童館や地域の他の子どもと交流する機会を設けられていない。	・当事業所の活動時間と他の子どもたちの活動する時間が異なっていることや、他の子との交流を求めているご家庭もあるため。	スタジオ外で活動をしている際には地域の子どもたちが「混ざりたい」と入ってくるということがある、その際には利用児にどうするか判断を聞き、一緒に地域の子どもたちとも交流をしていく。
2	・人数や年齢層によってはスタジオが少し狭いと感じることもある。	・これまで年齢層が低い子が多かったが、徐々に利用者様の年齢が上がってきたことで狭く感じる場面も出てきている。	・近くには大きな公園があったり、野球場があったり、体育館や市民センターもある。プログラムに合わせて地域の資源を活かしていきながら活動を提供していく。
3	・支援会議に参加できない時間帯がある。	・支援会議の時間によってはスタッフの配置上の問題もあり参加できないことがある。	・活動プログラムを工夫することや、スタッフを採用することで配置上の問題をクリアしていきたい。

公表 事業所における自己評価結果

事業所名		公表日 2025年 10月 20日					
	チェック項目	はい		いいえ		工未している点	課題や改善すべき点
		6	0	6	0		
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	0			・運動する人数を分けたりしながら安全に活動できるように配慮している。 ・狭いと感じる場合などには公園などを活用している。	
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	0				
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	0				
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	0			・毎日の清掃と道具の消毒、整理整頓をしている。	・事務スペースが活動場所と一緒になった為、個人情報取り扱いや保護者様が見える部分の整理整備はを付けていく
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	0			・個別の対応が必要な時は部屋を移動して対応している。	
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参加しているか。	6	0			・事業所としてのミーティングの時間を確保している	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0			・保護者からの自己評価や要望シートをもとに意見があった際はスタ ジコ内で話し合いの時間を設けている。	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0			・個別ミーティングの機会を設けている	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	2			・第三者からの意見などを聞き、改善に努めている。	
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	6	0			・研修に必要なスタッフについては都度で案内しながら法人内で研修している。	・定期的な研修の機会を設けていく。 ・外部への研修にも参加をしていく。
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	1			・HP上で公表しているが、さらに送迎などの保護者様へ合ったときに当日の活動内容を伝えている。	
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	4	2			・日ごろから気になった点は保護者様と話すようにし、普段の会話の中から計画の内容へと繋げている。	
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	0				
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	0			・計画に沿った支援をするために職員に共有している。	
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	0				
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	0				
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	0			・月間目標などを設定し、それに基づいた活動プログラムを作っている。 月のプログラムのプラスして先週出た課題などを共有し、そこに基づいた活動内容を提供している。 ・先週と今週、昨日と今日など子どもたちの様子を見ながらプログラムを変更している。	
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	0				
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6	0			・個別のほうが理解しやすい部分と、集団のほうが理解しやすい等、本人の様子とサポートする内容に合わせて支援をしている。	
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	0			・毎日の活動で必ず実施している。	
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	0			・毎日必ず実施をしシステムにも記録を残し、その日お休みだったスタッフも確認できる環境を作っている。	
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	0			・システムを使って支援の記録を残している。次回の活動の日には記録の確認をしつつ改善に努めている。	
	23 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	1			・共働き世帯が増えてきている中で来所をした上でのモニタリングの時間の確保等が難しくなっている場面もあるが、送迎時なども使いつながりながら、保護者様と共通認識を図っている。	
24 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	4	2			・地域交流の機会はなかなか設けられていない。	・地域交流の機会はなかなか設けられていない。	
25 こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6	0			・活動プログラムの中で設けている。		
26 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参加しているか。	5	1			・子どもに対して担当のスタッフなどは決めていないので誰が参加しても問題ないようにしている。		
27 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	0					

関係機関や保護者との連携	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5	1	・保護者を通じた情報共有をおこなっている	・学校や他事業所とも情報共有をしている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	0	6	・保護者様のみと情報共有をしている。		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	0	6			
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	0	6			
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	0	6	・直接かかわる機会は作っていないが、公共の場で関わることはある。		
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	0	6			
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0	・送迎の際などに保護者様と話をする時間を設けている。		
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレントトレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	0	6	・研修等はしていないがご家庭での様子でレッスン時に聞き、情報共有している。 ・研修の形では無く、お子様に伝わりやすい声かけがあった時には、具体的に保護者様へ伝えている。		
	保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0		
		37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0		
38		「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6	0			
39		家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0			
40		父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	0	6		・保護者会等はおこなっていない ・今年度は保護者様や兄弟を交えたイベント交流などはしていない	
41		こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0	・ご意見いただいたことを、スタジオとしてできる限り配慮し体制を見直した。		
42		定期的に通信等を行うことや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5	1	・行事予定などを発信してはいるが、郵便HUGのアプリからイベントの案内をしている。	・HUGアプリを見ていない家庭もあるので、必要に応じて書面での情報共有も必要。	
43		個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0	・鍵付きのロッカーを準備し、個人情報の記載があるものについてはそちらに保管をしている		
44		障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0			
45		事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	6		・おこなっていない ・招待などしていない	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	0	・感染症対策委員会や防災委員会、虐待防止委員会を設置し、研修をしている。		
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	0	・火災や地震、水害を想定した避難訓練を実施している。		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6	0	・てんかんについては状況を把握しているが、服薬や予防接種については事前にごらから確認することはほとんどなく保護者様から情報共有をいただいている。		
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	0	6	・保護者様からの情報でアレルギーへの対応はおこなっている。		
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	0	・日々の活動の中で安全管理についてはフィードバックをしている。		
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	0			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	0	・安全管理と同様に日々の活動の中でヒヤリハットを共有、同じことがないように対策を練っている。		
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0	・虐待防止委員会を設置し研修をおこなっている。		
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6	0			